

日露知事会議 結果概要

～鈴木知事のモスクワ訪問～

◇ 概 要

鈴木知事は、モスクワを訪問し、第16回目となる日露知事会議に出席した。日本側からは、鈴木知事ほか上田全国知事会会長（埼玉県知事）をはじめとする計8名の知事（茨城、富山、岐阜、鳥取、岡山、鹿児島）が出席、ロシア側からは22知事のほか、連邦政府及び連邦議員などロシア要人を含む約100名が出席し、地域間協力、中小企業・投資、技術革新への支援、文化・人的交流などの幅広い分野について意見交換等を行った。

また、滞在中、鈴木知事は、知事会議に出席したロシア側知事との個別会談などを行った。

◇ 訪問団

鈴木知事ほか上田全国知事会会長（埼玉県知事）をはじめとする計8名の知事（茨城、富山、岐阜、鳥取、岡山、鹿児島）のほか、政府（外務省、総務省）や全国知事会事務局などが同行。

◇ 日 程

令和元年5月12日（日）～14日（火）
（全国知事会一行は15日（水）まで）

1 日露知事会議

○日時：5月13日（月）11:00～16:40 ※会議開催前及び休憩時間等、合間に個別会談を実施。

○場所：ペトロフスキー宮殿「円形の間」

○内容：地域間協力、中小企業・投資、技術革新への支援、文化・人的交流のテーマごとに4セッションで、順次、意見交換等を実施。

※会議冒頭のマトヴィエンコ連邦院議長入場の際、鈴木知事から花束を贈呈。



【開会式】 **マトヴィエンコ連邦院議長**は、知事同士が向かい合って経験を語り合うことはすばらしい。連邦院はサポートすると発言。

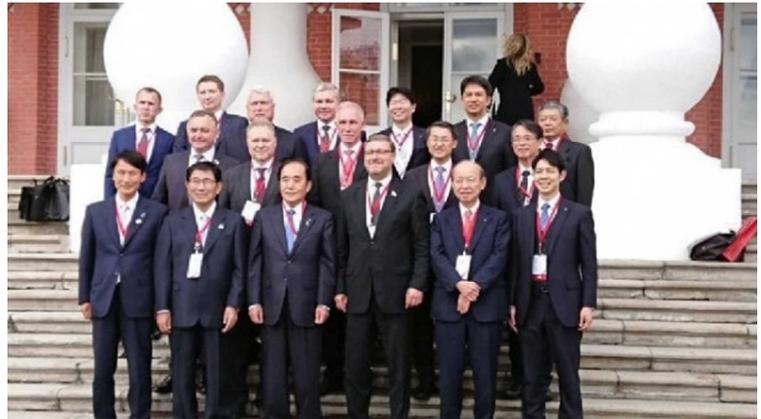
また開会后、ベグロフ・サンクトペテルブルク臨時知事代行から、昨年は大阪市と姉妹提携40周年、現在は北海道と積極的な関係。北海道の人形浄瑠璃の公演に協力すると発言。



【第1セッション】沿海地方知事は、北海道、鳥取、島根などと25年以上の交流。極東連邦大学の北海道函館校もあり、幅広い分野で協力を拡大したいと発言。サハリン州政府副議長代行は、日本の最先端医療技術の協力、日本語・ロシア語弁論大会の開催、スポーツ交流などを行っていることを発言。

【第3セッション】モスクワ州知事は、MONIKI と MTJ 及び日本の病院とのがん治療の研究協力と、北海道の自動車テストコースとの協力の意向について発言。

【第4セッション】鈴木知事は、昨年12月に新千歳・ウラジオストク間の直行便が就航したことを受け、道がこれまで取り組んできた5つの「協力パッケージ」のうち、従来の「直行航空路線開設」を「人的交流の拡大」に変更して新5つの「協力パッケージ」として提案し、日露地域間交流の牽引役としての役割を果たしていく考えを示した。また、日本とロシアの地域同士の交流を深めることで、双方の信頼関係が強化され、領土問題を解決して平和条約の締結につながることを期待すると発言。鈴木知事の発言に対し、大統領特別代表は、信頼があるからこそ複雑な国家間の課題の解決にもなる。国民の相互理解により、政治家が一番複雑な課題を解決できるようになる旨発言し、まとめた。



2 ハバロフスク地方知事との会談

○日時：5月13日（月）10:00～10:30

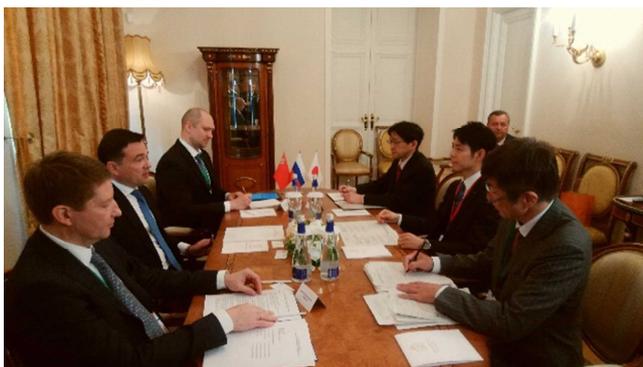
○場所：ペトロフスキー宮殿

○内容：両知事は、北海道医療大と国立極東医科大学との交流について言及したほか、フルガル・ハ



バロフスク地方知事からはハバロフスク・新千歳空港直行航空路線定期便を開設したい旨伝えられ、鈴木知事は、直行航空路線が開設したならば、人的交流拡大が進むと応答。また、鈴木知事からフルガル知事を北海道に招待した。

3 モスクワ州知事との会談



○日時：5月13日（月）10:30～11:00

○場所：ペトロフスキー宮殿

○内容：両知事は、MONIKI（モスクワ州立学術臨床研究所）と禎心会との医療、寒冷地建築、武道の青少年交流を推進していくことについて意見が一致した。**ヴォロビヨフ・モスクワ州知事**からは、がんセンターの建設について協力してほしい旨発言があった。鈴木知事からヴォロビヨフ知事の来道を招請した。

4 サントペテルブルク臨時知事代行との会談

○日時：5月13日（月）12:50～13:25

○場所：ペトロフスキー宮殿

○内容：両知事は、ロードマップに基づき具体的に実現を目指すことで一致した。**ベグロフ臨時知事代行**から、北極海航路に関する特別な委員会を発足したとの発言があり、北海道との協力の意向を示したほか、第3回ワーキンググループ会合の開催と現在の双方の知事による新たなロードマップの署名の意向を示した。



会談中にプーチン大統領からベグロフ知事代行に電話があり、鈴木知事に「よく頑張るように、よろしく」との伝言があったことが紹介された。

5 沿海地方知事との会談

○日時：5月13日（月）12:20～12:45

○場所：ペトロフスキー宮殿

○内容：札幌とウラジオストクの直行便を活用して両地域の人的交流を一層推進することで意見が一致した。**コジェミャコ沿海地方知事**から、文化・スポーツ、経済など、マリンスキー劇場を含め、文化、芸術、スポーツ分野にビジネスを含めた日本訪問団を組織し日本訪問を北海道から始めたい旨発言があり、鈴木知事からは来道を歓迎する旨応答した。



※ 会議会場でサハ共和国首長とも名刺交換、挨拶を行った。



6 会議後の知事単独取材（ぶらさがり）

○日時：5月13日（月）16:40～17:00

○場所：ペテロフスキー宮殿

○発言内容：（初めての外遊の感想と北方領土への言及の意図）

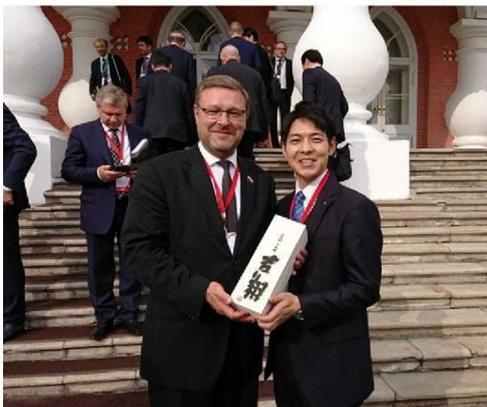
マトヴィエンコ連邦院議長やコサチヨフ連邦院委員長をはじめ、沿海地方やモスクワ州



などの知事と1対1で今後の交流などについて直接お話しできたことは非常に大きな意義。新たな5つの「協力パッケージ」についても提案できた。地域間交流や人的交流を積み重ねることにより、北方領土問題の解決の機運醸成に寄与するものと考えている。

7 ロシア側国会議員との関係構築

(1) 知事会議終了後、コサチヨフ連邦院国際問題委員長と挨拶。



(2) シュレポフ国家院議員（対日議員グループ代表）と挨拶



(了)